

生息密度調査について

平成21年度の生息密度に関するモニタリングは、糞粒法、ルートセンサス調査を実施し、指標を検討することとなっている。すでに両調査ともに実施済みであるが、集計が完了しているルートセンサス結果について報告する。

(1) 方法

- 調査は東大台2ルート (No1、2)、西大台2ルート (No.3、4) の4ルートで実施した (図1)。
- No.1~3は徒歩、No.4は車を用いた調査を行った。
- 調査は平成21年10月18日~19日に実施した。

(2) 結果

- ルートごとの距離当たり確認頭数 (図2、表1) は、ルート2で最も多く次いでルート3が多かった。西大台ルート (ルート3) で多く、東大台ルート (ルート1) で少ない傾向が見られた。
- ルート1、ルート2は平成8年 (1996年度) にピークに達した後、以降減少してきた傾向がある (図2、図3)。
- ルート3も平成8年 (1996年度) にピークに達しその後減少したが、近年増加の傾向が見られた (図2、図3)。

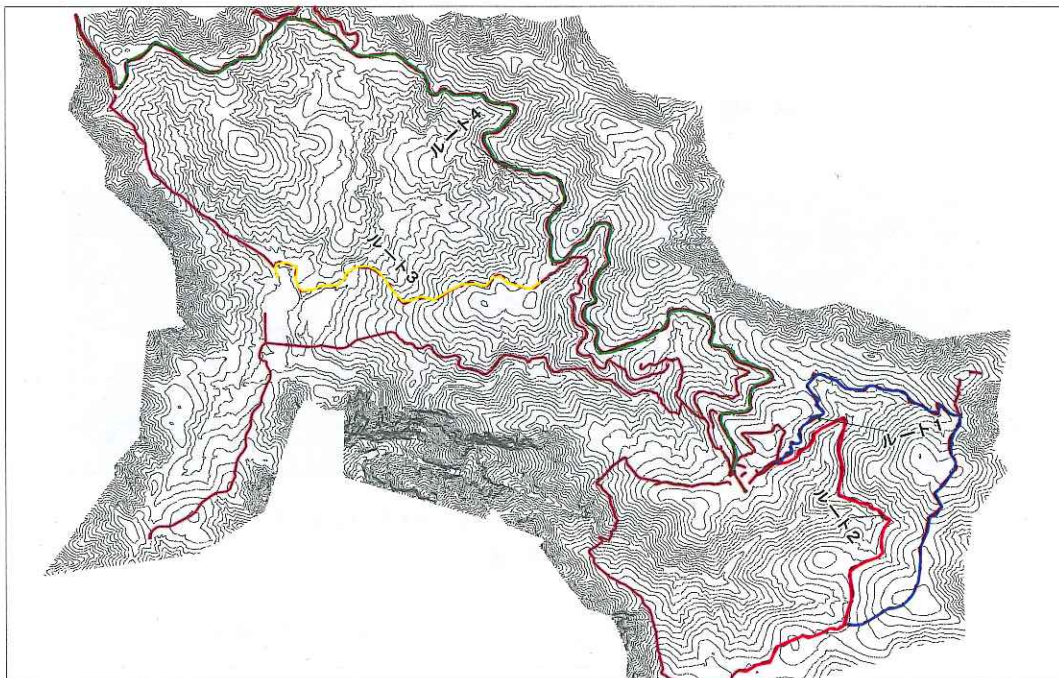


図1 センサスルート

(— : ルート1、— : ルート2、— : ルート3、— : ルート4)

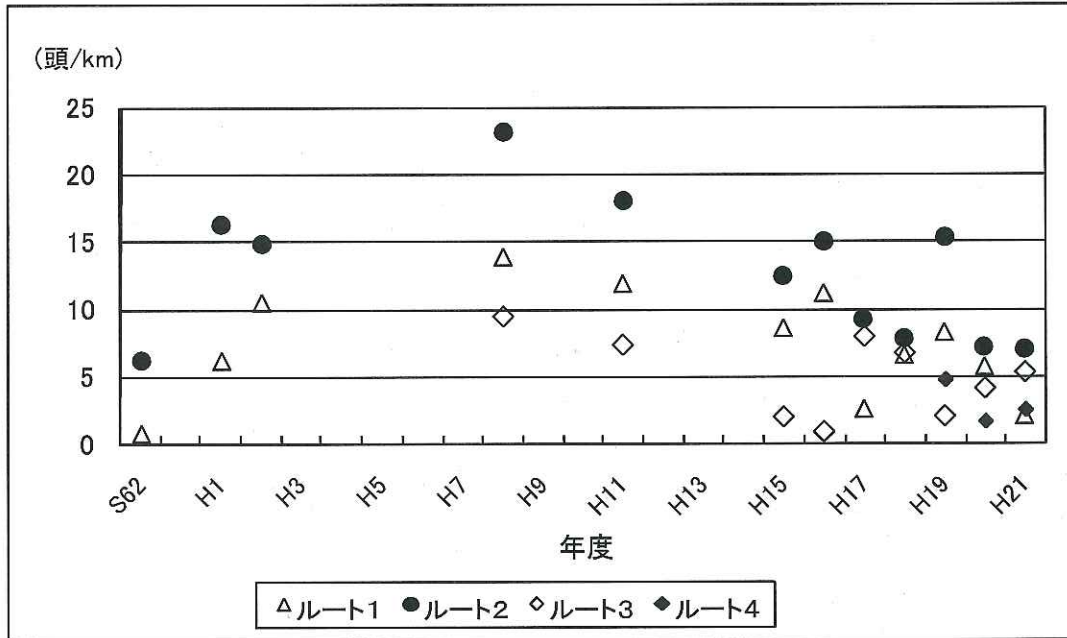


図2 ルートセンサス調査による距離当たりの発見頭数

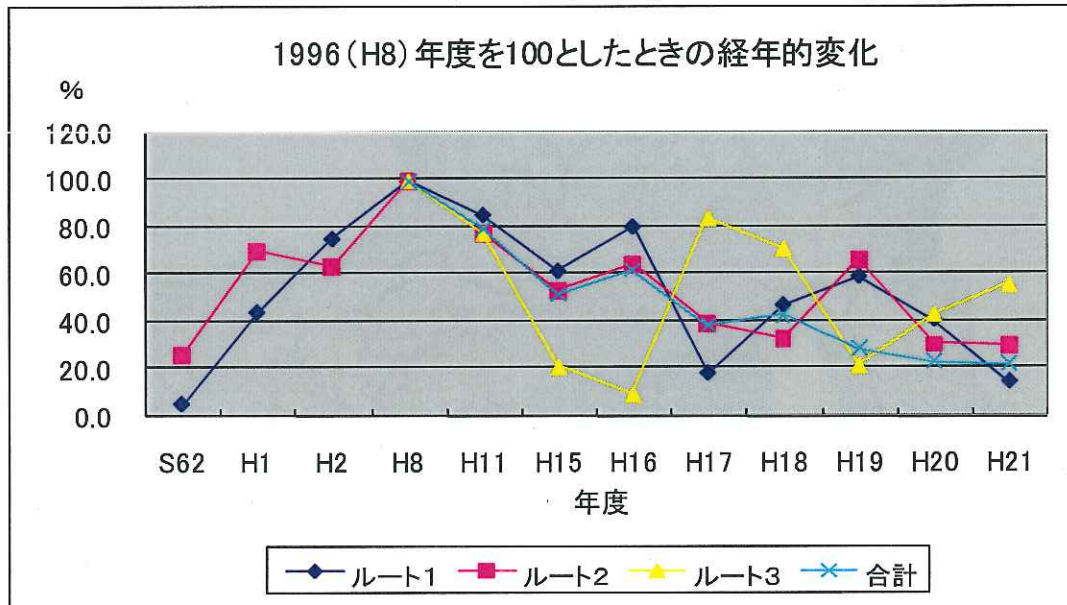


図3 発見頭数の相対的経年変化

表1 平成21年度ルートセンサス結果

コース番号	コース長 (km)	観察頭数											生息指標(頭 /km)
		オス		メス		仔		識別頭数			計		
		頭数	100♀	頭数	100♀	頭数	100♀	頭数	頭数	%			
												頭数	
1(日出ヶ岳)	2.75	1	—	0	—	0	—	0	0.0	0	0.0	1	0.4
2(中道)	2.67	5	166.7	3	33.3	1	33.3	8	47.1	8	47.1	17	6.4
3(開拓)	1.71	1	—	0	—	0	—	7	87.5	7	87.5	8	4.7
計	7.13	7	233.3	3	33.3	1	33.3	11	100.0	11	100.0	11	1.5
1(日出ヶ岳)	2.75	2	28.6	7	0.0	0	0.0	1	10.0	1	10.0	10	3.6
2(中道)	2.67	2	18.2	11	9.1	1	9.1	6	30.0	6	30.0	20	7.5
3(開拓)	1.71	3	100.0	3	0.0	0	0.0	4	40.0	4	40.0	10	5.8
計	7.13	7	33.3	21	4.8	1	4.8	29	100.0	29	100.0	29	4.1
4(ドライブウェイ)	6.40	4	44.4	9	22.2	2	22.2	1	6.3	1	6.3	16	2.5
4(ドライブウェイ)	6.40	7	116.7	6	33.3	2	33.3	0	0.0	0	0.0	15	2.3
計	12.80	11	73.3	15	26.7	4	26.7	1	3.2	1	3.2	31	2.4
1	5.50	3	42.9	7	0.0	0	0.0	1	9.1	1	9.1	11	2.0
2	5.34	7	50.0	14	14.3	2	14.3	14	37.8	14	37.8	37	6.9
3	3.42	4	133.3	3	0.0	0	0.0	11	61.1	11	61.1	18	5.3
4	12.80	11	73.3	15	26.7	4	26.7	1	3.2	1	3.2	31	2.4
計	27.06	25	64.1	39	15.4	6	15.4	27	27.8	27	27.8	97	3.6